

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 390 事業名 保健センター施設管理事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		地域保健費	
	大事業		地域保健事業	
	事項		保健センター施設管理事業	

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
取組	1	健康づくり推進体制の整備

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	永年	～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	地域保健課	加藤智康 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	利用する市民が、安全で快適に利用できる状態にする。	庁舎管理に関する各種契約業務や支払い業務、施設・設備の修繕、火災保険への加入、業者委託による庁舎清掃、庁舎警備、乳幼児健診時の駐車場誘導警備等				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		より安全で快適な施設環境づくりをするための庁舎管理・清掃・冷暖房装置保守点検等の管理委託や光熱水費・所々修繕料・庁用及び業務用器具修繕料等の管理を行う。 また、昭和40年竣工の西保健センターについては、建物の安全性について検討を行う。	より安全で快適な施設環境づくりをするための庁舎管理・清掃・冷暖房装置保守点検等の管理委託や光熱水費・所々修繕料・庁用及び業務用器具修繕料等の管理を行う。 また、昭和40年竣工の西保健センターについては、建物の安全性について検討を行う。	より安全で快適な施設環境づくりをするための庁舎管理・清掃・冷暖房装置保守点検等の管理委託や光熱水費・所々修繕料・庁用及び業務用器具修繕料等の管理を行う。		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	7,912	7,042	8,487	9,454	14,100	10,359	13,034			
	伸び率 (%)	-	-	7.3%		66.1%		-7.6%			-100.0%
	人件費	常勤職員	3,207	3,207	2,942	3,831	3,831	4,159	3,831		
		非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0		
		小計	3,207	3,207	2,942	3,831	3,831	4,159	3,831		
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源 (税等)	7,912	7,042	8,487	9,454	14,100	10,359	13,034				
所要人数	常勤職員	0.38	0.42	0.38	0.51	0.51	0.55	0.51			
	非常勤職員	0		0	0	0	0	0			

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	修繕箇所数				年度目標値				
					実績値	4	7	12	
	単位	件数	全体目標値	全体目標達成度	B				
	年度別達成度								
					年度目標値				
成果指標	施設の不具合によって予定通り事業が行えなかった件数				年度目標値	0	0	0	0
					実績値	0	0	0	
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	B				
	年度別達成度								
					年度目標値				
					実績値				
単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価(所属長記載)  <b>A</b>
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	<p>各保健センターともに、庁舎管理に関する業務がスムーズに執行されている。特に、西保健センター、南保健センターにおいては、庁舎の老朽化が進む中、修繕箇所が増えているものの、業務遂行には差し支えなく、市民に対しても不具合を生じさせることなく修繕等順次行っている。</p> <p>今回、駐車場警備業者の警備員に対する苦情が1件あり、その対応処理を行っている。</p> <p>数年後には、西保健センター、南保健センターの新設が予定されているが、それまでの間、修繕業務も続くことが予測され、随時適切に対処していくことが必要となる。</p> <p>その他の施設管理業務についても、ほぼ現状通り、より良い方法で進めていく必要がある。</p>
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	